

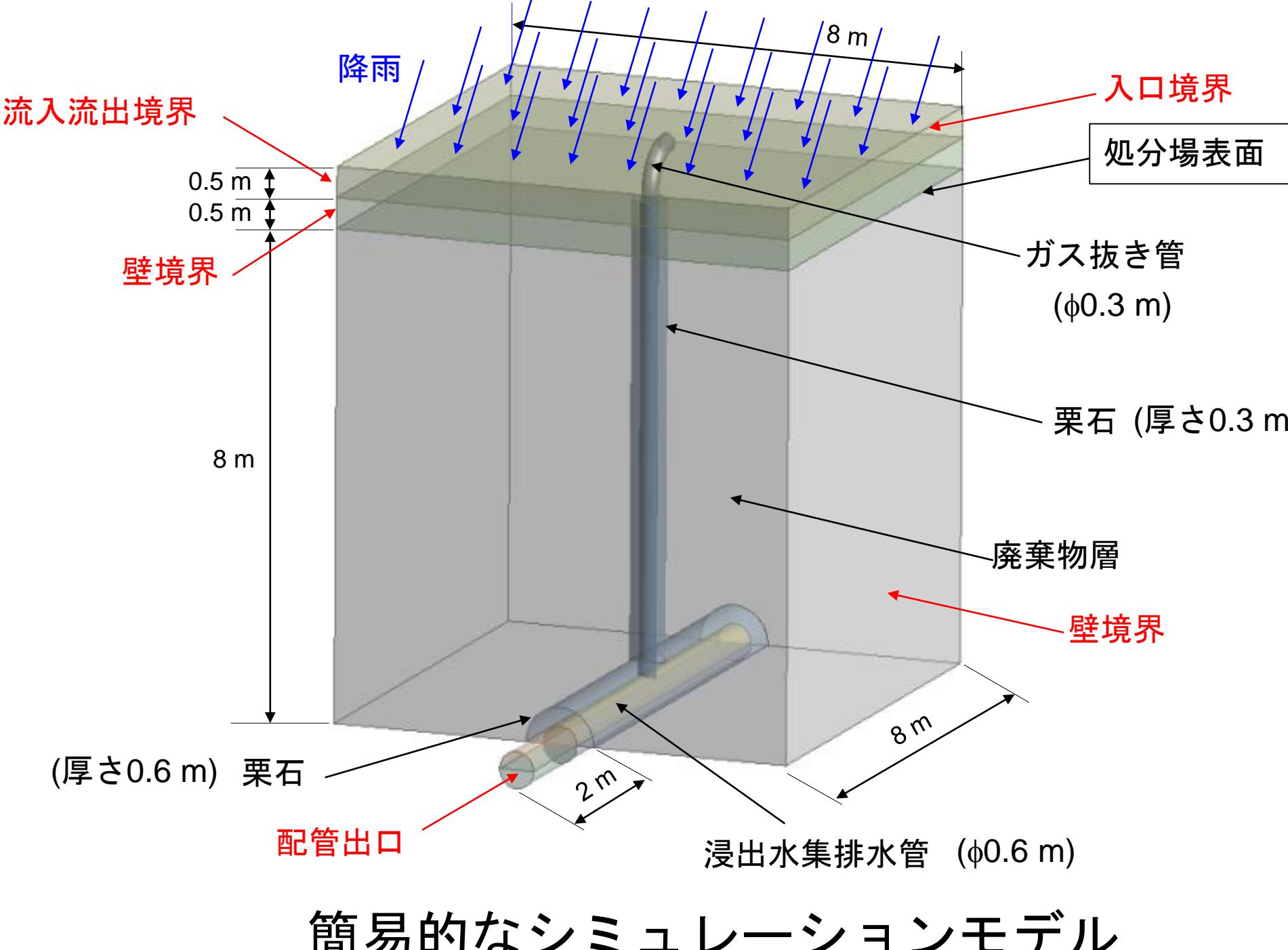
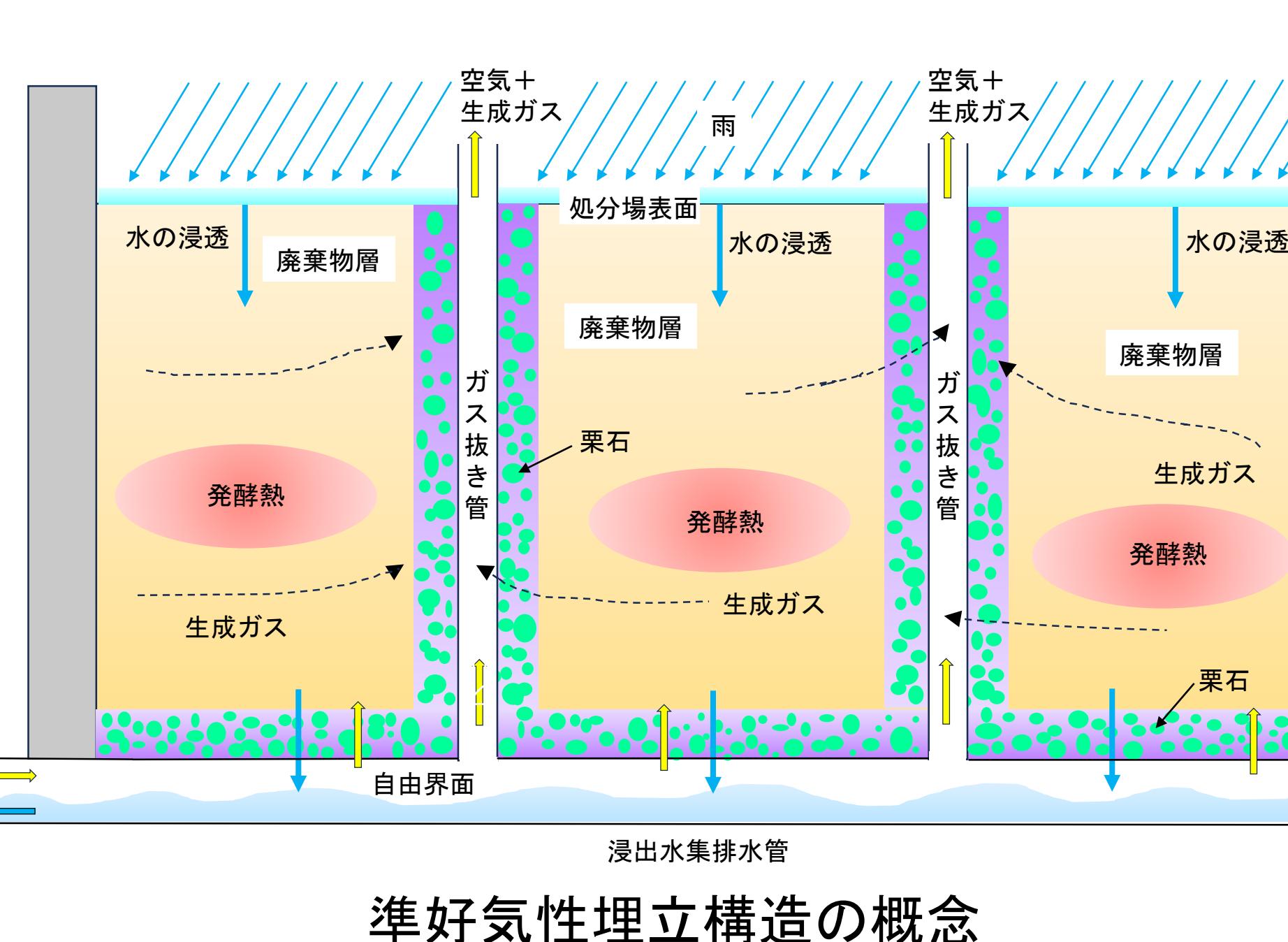
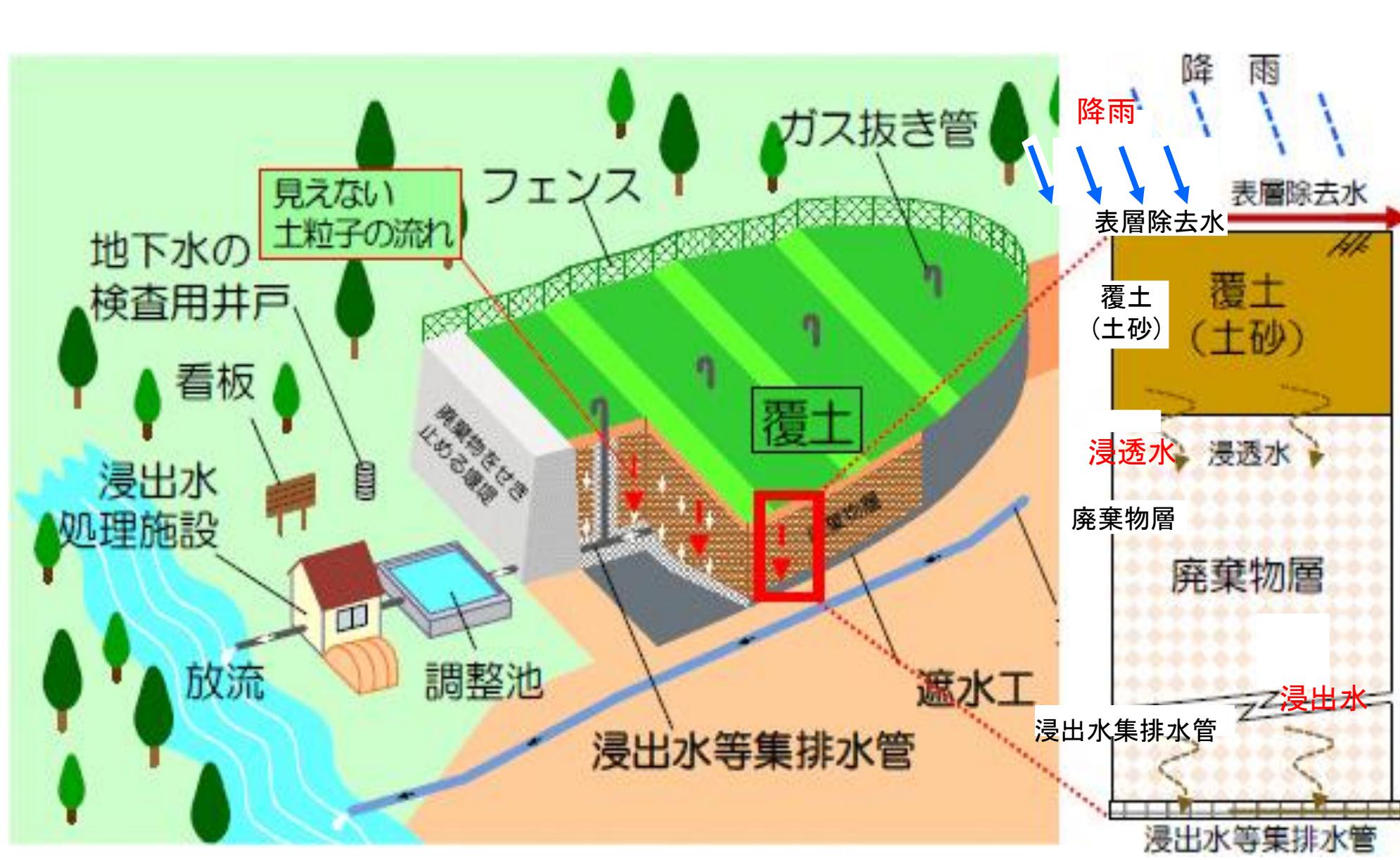


一般廃棄物最終処分場における放射性セシウム挙動シミュレーション

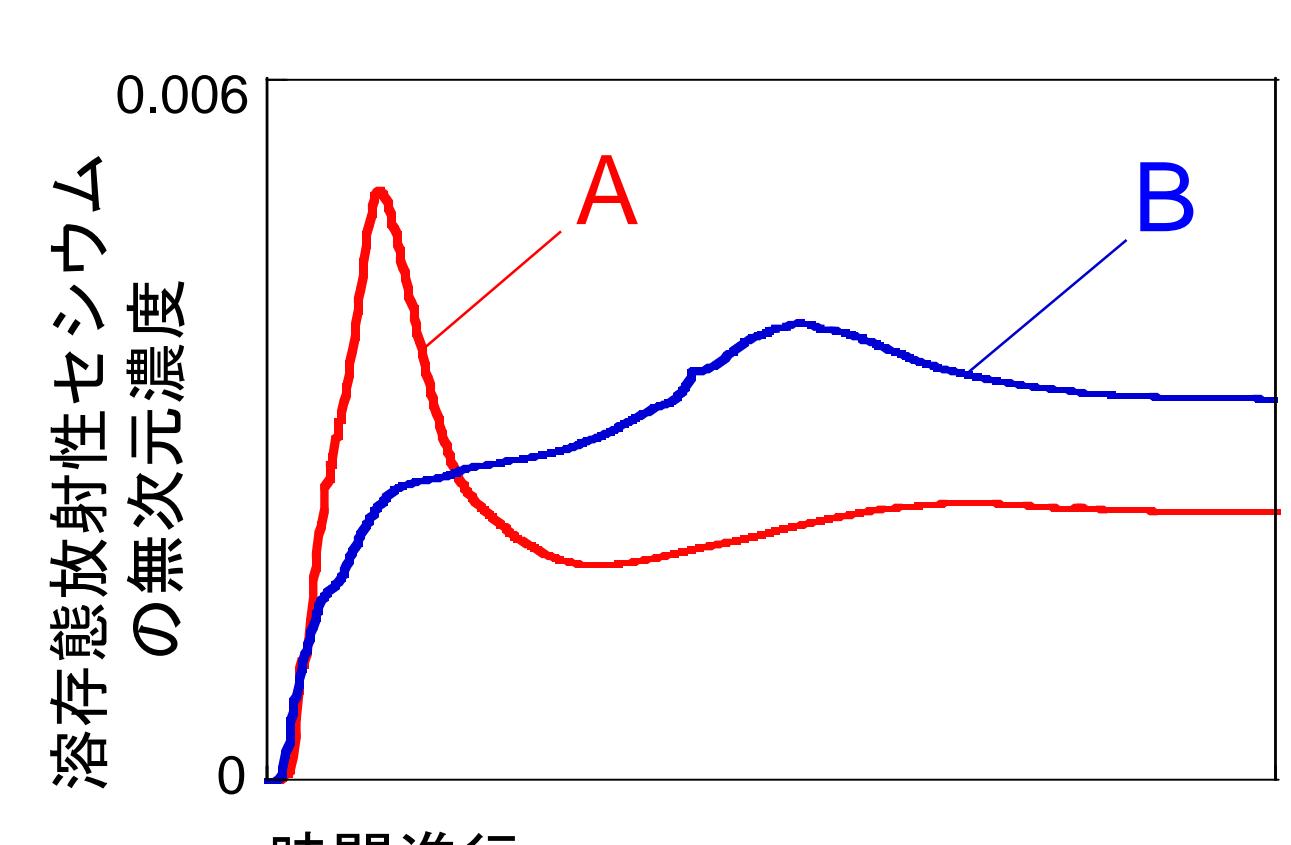
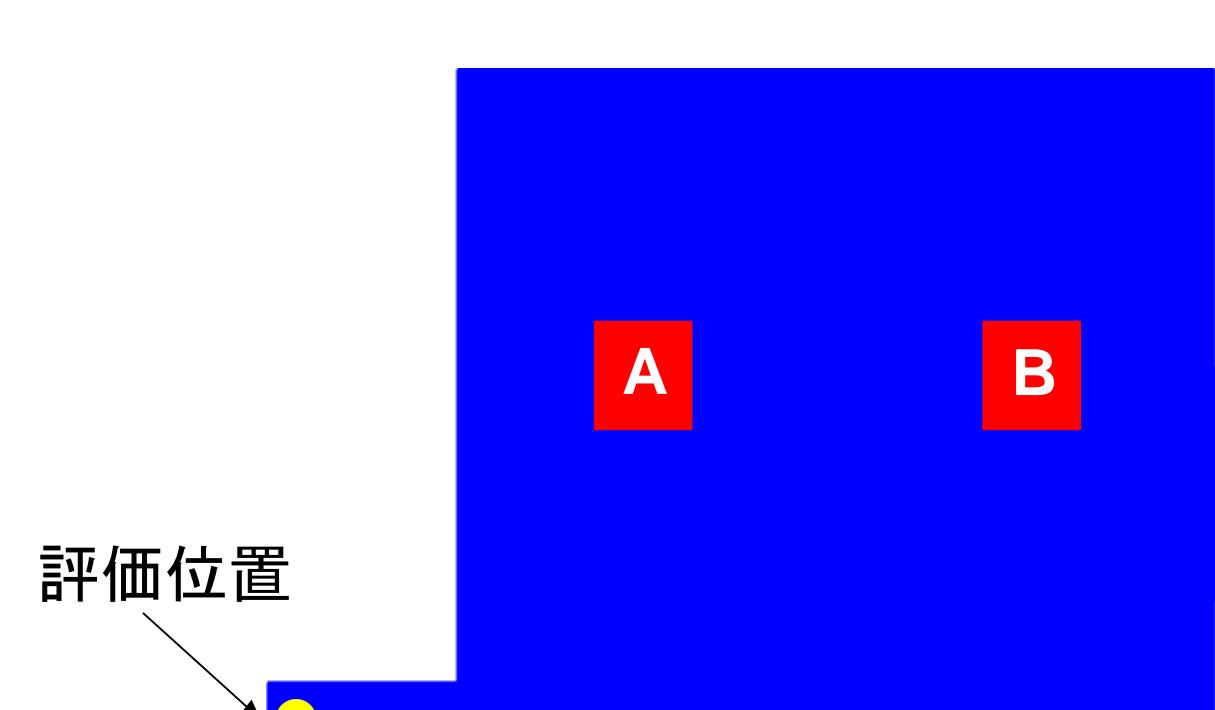
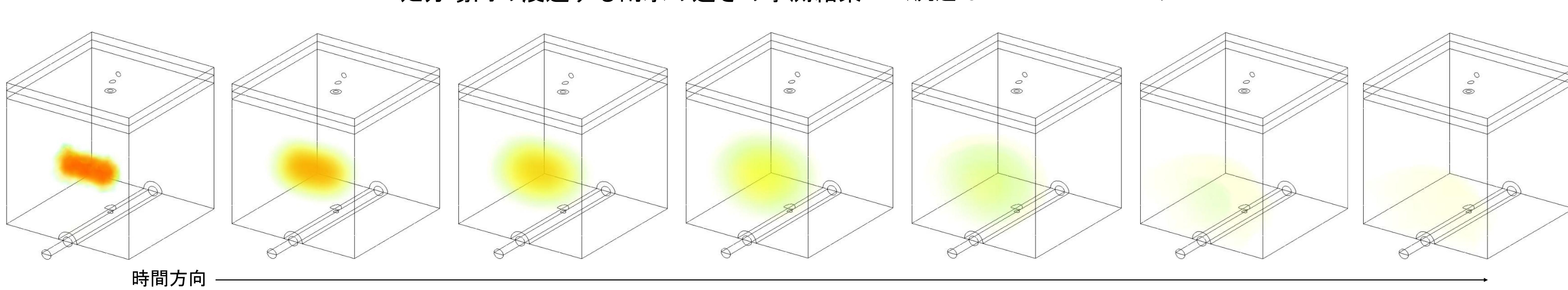
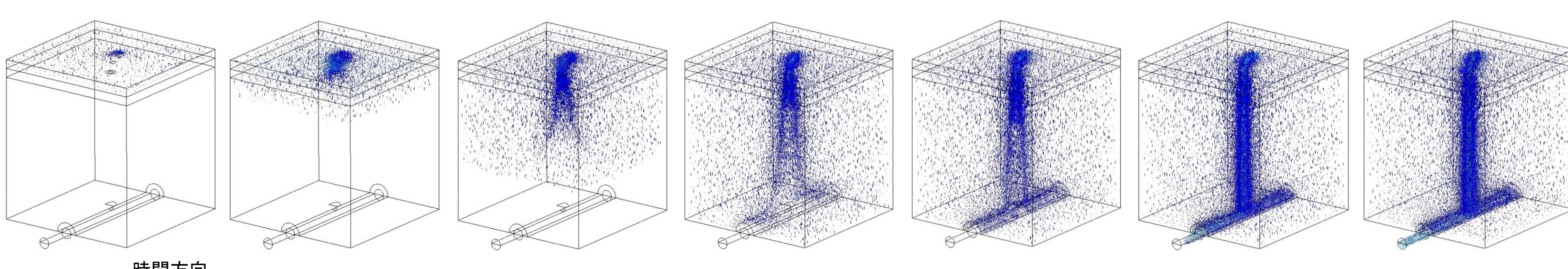
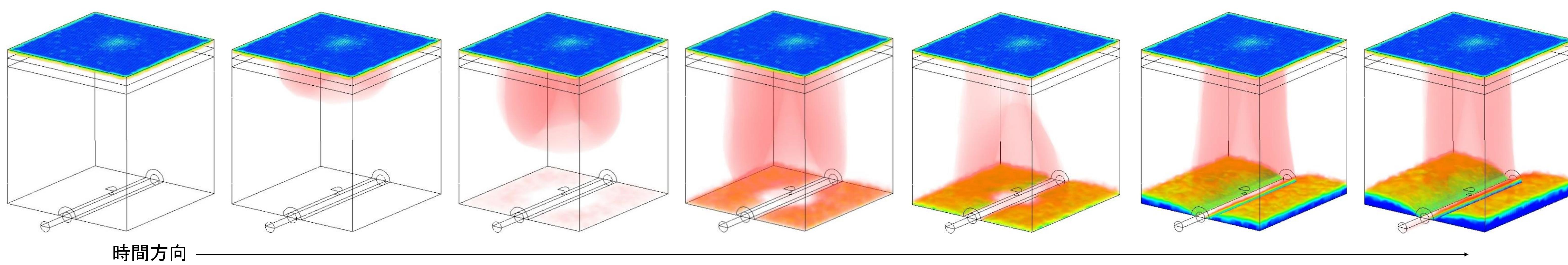
福島県 ○高瀬 和之、高橋 拓人、日下部 一晃、国分 宏城

福島県内一般廃棄物最終処分場の浸出水中の放射性セシウム濃度を調べた結果、ほとんどの処分場は数Bq/Lであったが、10Bq/Lを超える処分場も存在した。この要因の1つとして、処分場内を流れる浸透水の影響が考えられた。そこで、簡易的なシミュレーションモデルを用いて浸透水が放射性セシウムの拡散挙動に及ぼす影響を定性的に明らかにした。

一般廃棄物最終処分場構造を縮小簡略模擬した3次元シミュレーションモデル



3次元シミュレーションの結果



図中の■は溶存態放射性セシウムの初期配置位置、●は濃度の評価位置を示す

浸出水集排水管出口における溶存態放射性セシウム濃度の予測結果

まとめ

廃棄物処分場内の浸透水が放射性セシウムの拡散挙動に及ぼす影響を簡易的なシミュレーションモデルを使って定性的に明らかにできる見通しが得られた。放射性物質の将来予測の検討する際に現地調査に加えてこのようなシミュレーション活用ていきたい。